

青年会議所に対する意見書

私は青年会議所に 2012 年に入会し 12 年になります。はじめは仕事の為、自分の為に入会しましたが、仕事も起業したばかりで社員も居なくすべて自分一人で行い、その中で青年会議所の会議や事業に参加し大変だと思ふ日々が続きました。

青年会議所運動に充てる時間は、プライベートの時間や家族の時間を使い、時には仕事の時間までも使うなど青年会議所運動に対し負担と思う人が多いと思う中で、私はそのマイノリティを少しでも変え寄り添っていきたいと思います。

今、群馬ブロック協議会には 12 会員会議所がありそれぞれ抱えてる問題は違うと思います。例えば継続事業の維持や理事になる人材不足、入会 3 年未満の退会率、青年会議所を継続していく危機など、たくさんあると思います。ただその解決策は必ずあると思っていますし、各地会員会議所で解決が難しい事も協議会全体で共有すれば必ず解決策が見つかると思います。現在では離れていても ZOOM など便利なツールを活用する事で相談や会議もできます。そのサポートを群馬ブロック協議会が行うべきだと考えます。

群馬ブロック協議会は会員減少の中、2024 年度の今現在純増していると聞きます。年々新しいメンバーは入会し、たくさんの可能性が群馬ブロック協議会にはあると思います。新しいメンバーとの出会いは、私たちに新たな気づきを与えてくれます。また、自分の人生でかけがえのない存在にもなりえるかもしれません。会員拡大は青年会議所の為だけではなく、自分や大切な仲間の為でもあると思いますので、一人でも多くの仲間と出会えるようなサポートをしていきます。

私は「青年会議所の魅力は何ですか」と聞かれたとすると、人ですと答えます。これはすべての事においても答えは同じだと思っており、人は一人で出来る事は限られ、人は孤独には勝てない考えるからです。だからこそ辛いときは支えあう必要があると思いますし、楽しいときは分かち合う事が大切だと思います。それが出来る関係が青年会議所です。私はこの青年会議所を通じて大切な仲間に出会うことができました。私は、学もないし知識もない世の中で言えば特にすごい人間ではないですが、私の仲間はすごく有能であり優しく頼りがいのある仲間ばかりです。青年会議所運動を通じて、そんな素晴らしい仲間と出会うことができました。

だからこそ、今年卒業を迎える 40 歳になる最後の年に群馬ブロック協議会会長に立候補し、私の歩んで来たこの 12 年間の経験、そして想いを群馬の仲間たちに伝え、真に明るく豊かな未来につなげていきたいと考えます。

「早く行きたければ一人で行け、遠くに行きたければみんなで行け」

このことわざは私が理事長になり組織の在り方に悩んでいる時に、当時のブロック会長に

教えていただいた言葉になります。

この言葉には様々な解釈があると思います。私はこの先にある明るく豊かな未来をシンプルに考えると、自分の求める幸せは一人で歩き出したら辿り着けないが、仲間や家族とならば辿り着けると解釈しました。この言葉を胸に、今まで支えて頂いた先輩諸兄姉や仲間の為に 2025 年度は皆さんと共に歩いていく群馬ブロック協議会を目指す事と、私の出来る全てをぶつけ挑戦することをお誓い申し上げ、立候補に当たっての意見書とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 群馬ブロック協議会
2025 年度 会長 佐藤 俊樹